

平成29年度 事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

我が国の高齢者人口は、総人口が21万人減少する一方で、総人口に占める高齢者人口の割合は27.7%と過去最高となり、加えて65歳までの継続雇用や年金支給年齢の段階的な引き上げ、労働者派遣法の一部改正、一億総活躍社会への動きなど、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

こうしたシルバー人材センターを取り巻く環境変化が見られる中、本年度の契約額は2億7,997万円、前年対比100.9%と微量な増額となり、設立当初からの目標としている契約額3億円に達しない状況となっています。

このように、依然として運営は厳しい状況ではありますが、平成29年度はこれまでの安全就業、就業態勢の強化、就業機会の開拓・拡大と共に福祉・家事援助サービス、子育て支援、介護保険サービスの推進を図り、活力ある地域づくりに貢献しました。

また、会員数については、会員説明会後の個別面談の実施や就業開拓等により入会者が82名あり、退会者の52名と合わせまして、前年度と比べ5.9%増の539名となりました。

次に主な事業について報告します。

- ▶ 就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上に努める。
 - ✓ 会員の口コミ、市広報、会報、ホームページ、マスメディア等を利用し会員増強を図りました。
 - ✓ 市役所や社会福祉法人等を訪問し、就業機会の開拓・拡大に努めました。
 - ✓ ワークシェアリングを推進するため、特定の業務の指定や就業のローテーション化を図りました。
 - ✓ 毎月求人情報を提供し就業機会の拡大を図りました。

- 普及啓発事業を推進する。
 - ✓ 長岡中学校の剪定・草刈及び大仁中学校から大仁清掃センターストックヤードまでの道路草刈等の地域奉仕作業を行いました。
※大仁小学校の全体奉仕作業（剪定・草刈等）は、雨天により中止といたしました。
 - ✓ 「シルバーふれあいまつり」の開催及び市、社会福祉協議会イベントへの参加の外、独自事業「蛭ヶ島茶屋」の運営等を通じ、市民交流による事業のPRに努めました。
 - ✓ 会員と市民との参加型講習会を開催し、シルバー事業の理解を深めました。
 - ✓ 市主催の交通安全早朝一斉街頭広報に参加しました。
 - ✓ 会報「シルバー伊豆の国市」及びミニ会報、シルバー求人情報の発行、ホームページの開設等により、会員及び市民への情報提供に努めました。
- 会員の就業意識、技能の習得を図る。
 - ✓ 会員の技能習得を図るためのシルバー育成講習会を6講座開催し、89名が受講しました。
- 安全就業対策と健康管理に努める。
 - ✓ 会員の安全意識の高揚を図るために、市主催の安全就業に関する2講習会に67名の会員が参加しました。
 - ✓ 就業前の「KY チェックシート」の徹底を図り、安全就業に努めました。
 - ✓ 安全就業委員会が、就業先の問題把握及び会員の安全意識の高揚等を目的に、就業先での抜打ちパトロールを5回実施しました。
 - ✓ 会員に対し、市等の健康診断受診を奨励しました。
- 福祉・家事援助サービスを推進する。
 - ✓ 家事援助及び保育補助の人材育成講習会を開催し、女性会員の加入促進を図りました。
- 財政基盤の強化と事務局機能の効率化を推進する。
 - ✓ 就業機会の開拓・拡大を図り、受託収益の増加に努めました。
 - ✓ 定期的に職員会議を開催し、歳出抑制及び事務の効率化のための協議を行い経費削減に努めました。